

美祢市立病院広報

第44号

平成26年7月発行

〒759-2212

山口県美祢市大嶺町東分1313番地1

日本医療機能評価機構認定病院

美祢市立病院 発行人 本間 喜一

TEL 0837(52)1700 FAX 0837(52)1820

E-Mail byouin@city.mine.lg.jp

ホームページ <http://www.mine-city-hosp.jp/mineshiritsu/>



毎日暑い日が続きますが、鮮やかに咲く夏の花を見るのもいいものですね

トイレ改修のお知らせ

以前より患者さんや利用者の方からご意見・ご要望をいただいておりますトイレの改修工事を平成26年度事業として行い、和式トイレを洋式トイレに改修します。

工事場所は外来トイレ（玄関側及び泌尿器科横）及び各階の中央トイレです。工事期間は7月19日より順次行います。工事期間中には、トイレの閉鎖、工事関係者の出入り、騒音などご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

基本理念

市民に信頼され、思いやりのある医療を提供します。

基本方針

1. 医療安全に十分配慮した、良質な医療の提供に努めます。
2. 職員は常に、医療の質およびサービスの向上に向けた努力を続けます。
3. 患者さんの希望に沿った医療を目指します。
4. 救急および急性期医療をはじめ、リハビリテーション、慢性期医療、在宅医療までの一貫した医療の提供に努めます。
5. 地域の医療機関および施設、さらに保健および福祉行政と連携・協力し、医療、介護、健診の増進に努めます。

電子カルテ導入に伴う「美祢市立病院総合医療情報システム」について



美祢市立病院医療情報管理委員会 委員長 松永 登喜雄

美祢市立病院では、平成 15 年 4 月にオーダーリングシステムを導入しました。オーダーリングシステムは、紙の伝票や処方箋で血液検査や薬剤の発注・請求を行っていたものを、コンピューターを使って「オーダー」する仕組みのことです。このシステムの最大のメリットは、「効率化とデータの共有」「医療安全対策の強化」でした。血液検査などの検査結果は、1 枚の報告書でしか見えなかったものが、必要とする部署の複数の職員がパソコンの端末上で、いつでも確認することが出来るため、治療や診断のための効率よいデータ共有を可能にしました。また、重複処方や併用禁忌薬剤の処方の監査が迅速かつ正確に行えるようになり、医療安全上の対策が強化されることに繋がりました。

その後、レントゲン検査で発生する「画像」データが徐々にデジタル化され、フィルム出力を行わない「フィルムレス」画像管理が行えるようになりました。さらに当院で発生する内視鏡検査、エコー検査などの検査画像もコンピューターで管理できるようになりました。この時期に合わせて、診療録（カルテ）も電子化（電子カルテ）することにし、他の生理検査機器データ管理も行えるようになり、ここに「美祢市立病院総合医療情報システム」が作りあげられました。特に電子カルテの導入には、5 年以上の時間をかけて検討してきましたが、本年 3 月 17 日に電子カルテに移行を行うことが出来ました。

電子カルテ導入の大きな目的として

- 1) 医療サービスの向上
- 2) 医療業務効率化
- 3) 経営効率の向上 を掲げました。

この中で、最も重要な目的は医療サービスの向上です。これは、①情報の共有化による質の高い医療サービスの向上、②情報伝達の効率化に伴う医療の迅速性の向上、③監査機能の強化に伴う医療安全対策の強化を行うことで、安全で質の高い医療サービスを提供することを目的としています。現在の医療では「チーム医療」の重要性が指摘されています。病院に所属する医師、看護師だけでは医療は完遂できません。コ・メディカル（医療技術職）、事務系専門職、管理栄養士など多くの職種で「チーム」を作って患者様の治療を行わなければ質の高い医療はできません。この多職種間での「医療情報の共有」は、電子カルテを展開することで迅速かつ正確に共有できるようになり、チーム医療の実践に大きく貢献出来るようになりました。今後も美祢市立病院のチーム医療のレベルを上げて行きたいと思っています。

このように、多くの職員が多くの患者様の医療情報を扱う現状においては、院内で発生する医療情報の管理には厳重に対応する必要があります。このため、外部から講師を招いて研修会を開いたり、院内の委員会で勉強会を行ったりして、職員一同、周知徹底できるよう努力をしております。

しかしながら、電子カルテを導入してまだ 3 か月がすぎたばかりです。電子カルテをはじめとする総合医療情報システムには改良する点も多々あります。また、このシステムを使いこなせるように職員のスキルアップも図らなければいけません。操作に時間がかかったりして、患者様をお待たせしていることもあると思います。職員一同、今後も努力をして参りますので、どうぞ宜しくお願いします。

療養病棟 初夏の大運動会開催



療養病棟では、レクリエーション系の企画による行事が、1年に4回行われています。

今年も6月11日に「初夏の大運動会」が開催されました。運動会は、赤白対抗で玉入れや魚釣りなど3種目の競技が行われました。

患者様は、ベッドや車椅子での参加がほとんどで、体調は大丈夫だろうか？と心配する職員をよそに、全員が鉢巻きをキリッと巻き、気持ちを引き締め真剣な表情、はじける様な笑顔が印象的でした。

病室では見られない様な一面を見ることができ、職員も元気を頂き、ともに楽しいひとときを過ごすことができました。

文責 介護福祉士 福本 ゆきえ

「美祢市医師会から」



本年4月より美祢市医師会長をさせて頂いています藤村内科の藤村寛です。

医師会より報告します。昨年より、「美祢市医師会から」を寄稿し始め、はや1年が経過しました。医師会員につきましては、美祢市立病院より本間喜一院長、松永登喜雄副院長、高橋睦夫病院事業管理者に参加して頂いておりましたが、本年度より内科から李博文先生、山村泰世先生、外科からは田中昭吉先生、岡田敏正先生も参加を頂いております。これまで以上の病院連携が構築されるものと期待しています。

さて今年も健康診断が始まりました。H24年度の特定健診の受診率は、全国平均33.7%に対し、山口県は、22.4%で47都道府県中46番目（ワーストは広島県）で、1位の宮城県や2位の東京都の約半分の受診率でした。しかし、県内では、美祢市は男性29.8%、女性39.9%合わせて35.5%と最も高い受診率で最も低い下関市の約2倍の受診率でした。住民の皆様の健康意識の高さの表れだと感謝しています。また、胃癌検診については昨年より胃透視に加え内視鏡検査での検診が可能となりました。他の市町で内視鏡検査を取り入れている所では早期胃癌の発見率が上がってきています。美祢市は昨年より取り組んでいますのでデータは今後の解析待ちですが、同様の結果が期待できるものと考えています。今年も健康診断や癌検診を積極的に受けられ、自己の健康に留意されますようお願いいたします。



ともの園クリニック 鬼村 洋太郎



昨年4月から社会福祉法人同朋福祉会ともの園クリニックに勤務しています。私自身は昭和60年に山口大学医学部を卒業と同時に同大学病院の精神科に入局して以来約30年間精神科医として現在に至っております。当クリニックに来る前は長門市の精神科病院に25年間勤務し、地域精神科医療に携わっていました。当クリニックは元々内科クリニックだったのですが、私が赴任してからは心療内科も標榜しています。母体である、社会福祉法人の各施設に入所、通所の方々の診療の他、美祢はもとより長門、萩、宇部などから精神科患者さんたちが通院しておられます。精神疾患としては主にはうつ病、神経症圏が多いですが、今年5月からは院内断酒会を週1回開催してアルコール依存症の治療も行っています。クリニックでのアルコール依存症の集団療法は県内でも珍しいのですが何とか頑張っ続けていきたいと思っています。また、同じく5月からは精神科訪問看護も導入して在宅の精神的ケアにも力を入れていこうと考えています。

於福の山の中にある小さなクリニックですが、地域医療の一端に連なって微力ながら頑張りますので、今後ともよろしくようお願いいたします。



「お医者さん」と呼ばれたい！

中元医院 中元 起力

「私は中元医院で生まれたんですよ」日々診療をしていると、今でも50代の患者さんにこのように言われることがある。私の診療所は伊佐で4代にわたって診療所を営んでいる。ただ私の祖父は早くに亡くなり、その時父はまだ医学部の学生で、祖母は産婦人科の医師を雇い、自分は助産婦として働きながら、父が医師として帰ってくるまで中元医院を守っていた。このように言ってくれる患者さんは、自分がこの診療所で生まれたということに特別な親しみを感じて言ってくれるのだと思う。すごい事だとは思いますが、この親しみはけっして私個人への親しみではない。

昔、医師は皆さんから親しみを持って「お医者さん」と呼ばれていた様に思う。「お医者さん」と呼ぶ声には「医師」と呼ばれるよりも、「医者」と呼ばれるよりも親しみのこもった何か暖かいものを感じる。

私はできれば患者さんに「お医者さん」と呼ばれたいと思う。そう呼んでくれる患者さんは、きっと親しみを感じてくれているはずだから。自然とそう呼ばれた時、患者さんに親しみを持ってもらったと実感することができるような気がするのだ。

看護の日の催し



平成 26 年 5 月 10 日（土）まるき美祢店にて看護の日のイベントを開催しました。

「看護の日」は高齢社会を支えていくために、皆が看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むきっかけとなるよう、旧厚生省より 1990 年に制定されたものです。毎年、健康チェック（血圧測定、血管年齢測定、体脂肪測定、骨密度測定）を実施しており、この度は管理栄養士、薬剤師の方々も応援に来て下さり、お薬相談、栄養指導のコーナーも設置されました。今年もたくさんの市民の方々にご参加頂き、看護をより身近に感じてもらえた、とても有意義なイベントだったと思います。ご参加下さいました皆様あり

がとうございました。このような経験を通して、私達、美祢市立病院の看護師は勇気づけられ、成長していきます。これからも、市民の方に安全、安心をお届けできる看護を目指してまいります。今後もこのようなイベントに積極的に参加して頂き、健康の大切さを改めて見つめ直して頂けたらと思います。

文責 山岡 幸子

職場体験学習



5 月 22 日（木）、23 日（金）に大嶺中学校 2 年生の女子 4 名が職場体験学習に来られました。

病院長の、病院は医師や看護師だけでなく 14 種類の専門職が国家資格を持ちチームで医療をしているという話に驚いていました。

「ナース服を着ました！」みんな明るく元気な生徒さんたちで、将来が楽しみです。

医療、看護の仕事を体験することで将来の自分を見つめる良い機会になったと思います。

文責 看護部 清水 政江

地域連携室便り

地域連携室における相談件数（平成 25 年 1 2 月～平成 26 年 5 月）

	1 2 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
件数	1 0 8	1 1 1	1 3 3	1 3 4	1 3 5	1 5 5

1 日平均 3 ～ 5 件の相談を受けています。

相談内容としては①介護保険の説明や申請②在宅復帰、施設入所など退院時の調整③入院費支払など経済的相談④施設・ケアマネージャーからの病状についての問い合わせ⑤院内から他院への受診や入院相談 などです。

<連携機関>

各医療機関、ケアマネージャー、特別養護老人ホームなどの施設、市役所（高齢福祉課、地域福祉課など）、各病院の地域連携室及び相談室 など

専門の相談員（ソーシャルワーカー）が患者さんやご家族の不安や悩みを軽減するため、お話しをお伺いします。秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

TEL：54-2110

「国際ソロプチミスト美祢」様より



向上心を持って頑張っている女性、看護助手の中村美紀さんを国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン 国際ソロプチミスト美祢さんの「女性に機会を与える賞」(WOA)に応募、推薦していただきました。残念ながら入賞には至りませんでした。働く女性の励みになりました。このような機会をいただき感謝しています。国際ソロプチミスト美祢会長 迫田静枝様、担当していただきました皆様にお礼申し上げます。

現在、中村さんは看護学校に通い看護師の資格取得をめざし頑張っています。

文責 看護部 清水 政江

厚保地域交流ステーション振興協議会「女性の会」様より



5月27日(火)に厚保地域交流ステーション振興協議会「女性の会」の皆様から、皆さんの役に立てばと新聞紙で作成したゴミ袋600枚をいただきました。ゴミ袋や新聞紙2枚を4つ折りにしたものはオムツ交換時に毎回使い捨てられ、臭気対策にもなり重宝しています。随時届けていただけるとの事で大変喜んでおります。ありがとうございます。

文責 サービス向上委員会 清水 政江

救命講習開催



平成26年5月29日(木)に美祢消防署より救急隊の方をお招きして普通救命講習を行いました。看護師、介護福祉士、技師、事務、委託職員など多職種から約50名の参加がありました。

講習では救急隊が到着するまでの応急手当や救命処置の重要性を学び、回復体位や呼吸の確認、心肺蘇生法(胸骨圧迫と人工呼吸)、AEDの取り扱い方法など、実際にどのように行えばよいか受講者同士や人形を使って練習していきました。初めての方は正しい心肺蘇生法が習得でき、何度か受講されている方も自分の覚えていた知識・技術をしっかりと復習する良い機会となったと思います。

文責 戎井 安徳



(講習会の様子)



看護部リレー随筆



今年も梅雨の季節を迎えました。先日初めて蛍を見に行き、幻想的な光の世界を楽しむことができました。ちょうど去年の同時期に、私は4階病棟から2階病棟へ異動となりました。就職し3年目であり、周手術期・重症患者の看護など、初めて経験することや新しい人間関係など不安でいっぱいでした。しかし、先輩方の優しく丁寧な指導や温かくアットホームな雰囲気の中で少しずつ不安も軽減されていきました。まだまだ未熟者で勉強途中の私ですが、病気を抱えておられる患者様・ご家族の方が安心して頂ける看護師になれるよう努力していきたいと思えます。

2階病棟 中本 理恵

知 っ て 得 す る 病 気 の 話

外科医の“おへそ”

“おへそ”はヒトの体の中心と言われていることから、日本ではへそという言葉を使った事柄が多く存在しています。古くから「雷が鳴ったらへそを隠す」と言われています。雷の多くは、夏の夕立ちとともにやってきますが、夕立ちが来るまで暑かった外気が夕立ちによって冷やされて涼しくなります。夕立ちの直前までは暑いのでへそを出していても大丈夫ですが、夕立ちが来ると急に涼しくなりお腹を冷やしてしまいます。こうならないように昔の人は「へそを出していると雷様がへそを取りに来るぞ」と言ったのです。

「へそのゴマを取るとお腹が痛くなる」というのも一理あります。へその皮膚のすぐ下は脂肪がほとんどなく、すぐ腹膜があるため、強く刺激を加えると腹膜に炎症が起きて痛くなることがあります。

東洋医学では“おへそ”は神が宿るとい意味の「神闕（しんけつ）」にあたり、胃腸の特攻ツボとしてよく知られ、“おへそ”を温めると胃腸の働きが整います。

このように“おへそ”は消化管と深い関わりのある部位なのです。

我々外科医にとっても、“おへそ”は聖地であり手術の際にけっして切ってはならない、むしろ触ることもしないようにするべき部分とされてきました。おそらくは、“おへそ”はくぼんでいるために垢などがたまり不潔になりやすく、また皮下組織がないため創（キズ）の接着が悪くなりやすいためと思われていたのではないのでしょうか。ところがここ数年、この認識が劇的に変化しました。腹腔鏡手術の際にポートとよばれる5mm～10mm径の筒状の器具を皮膚から腹腔内に数本入れ固定するのですが、これを“おへそ”を切った孔から入れる方法が行われはじめ、確実に普及しはじめています。前述したように、“おへそ”の部分は皮下組織・筋肉がなく、お腹のなか（腹腔内）に最も近い通り道であって、これを使わない手はないということになったのでしょう。実際に“おへそ”を使った手術が行われてみると、手術前に丁寧に“おへそ”を清潔にしますので創が化膿することも少なく、創の接着についても問題はありませんでした。むしろ利点として、おへそのくぼみの分だけ創がかくれ、見た目がきれいにでき、腹腔鏡手術の利点である整容性（創が小さくきれいである）においてこれを充たす結果となりました。また見た目は小さな2cm程度の切開創でも、切るとおへその深さ分大きな4cm程度の創に広げることができるので“おへそ”の創一箇所から数本のポートをいれ、一つの小さな創で手術を終わらせてしまう方法も考えられ行われています。いまでは、多くの施設が虫垂炎、胆石症、胃癌、大腸癌といった疾患の腹腔鏡手術において“おへそ”を切開する方法を取り入れており、当院でも行っているところです。

手術前の説明で、「“おへそ”を切ります」と言われ、「大事な“おへそ”を？」と驚かれる方はきっと多いと思いますが、十分に考えられた上での手術手技ですので、安心して治療を受けられてください。

今後の腹腔鏡手術のへそとなる、外科医の“おへそ”の話でした。

文責 外科医師 岡田 敏正

今月の料理

★牛肉焼きビーフン

材料 (2人分)

ビーフン 100g
牛ヒレ肉 100g
玉ねぎ 1/4個
ピーマン 2個
赤ピーマン 1個
青ネギ 4本
一味唐辛子 小1/4
塩・コショウ 小1

(A)炒め調味料

水 200ml
しょうゆ 大1
オイスターソース 小2
ごま油 小1



作り方

1. ビーフンはたっぷりの熱湯に油大サジ2〜3加えて、かためにゆでボールに取り出し蒸らす。
2. 牛肉は5mm角の棒状に切り、塩コショウで下味をつける。玉ねぎ、ピーマンは5mm巾に切る。長ネギは5cmの長さに切る。
3. 鍋に油少々を熱し、2種のピーマンを強火でさっと炒め取り出す。
4. 牛肉を入れて強火で炒め、玉ねぎを加えて炒めて弱火にして一味唐辛子、コショウを加えて香りを出す。
5. Aの炒め調味料を加えて青ネギ、ビーフンを入れて水分がなくなるまで炒めてピーマンを入れてゴマ油を加えて仕上げる。

★ヒジキとエノキの梅干しあえ



材料 (2人分)

ヒジキ 20g(カンソウ)
エノキダケ 100g
梅干し 1個

作り方

1. ヒジキは水に20〜30分浸してやわらかく戻し、長さ4cmに切ります。熱湯でさっとゆでて水にとりザルにとって水気をきります。エノキダケは根元を切りおとし長さを半分に切りほぐします。
2. しょうゆ、酒、各小サジ1をまぶし、熱したフライパンでさっと炒め、しんなりしたら取り出して冷まします。梅干しは種を取り刻み、酒大1、しょうゆ小2をまぜエノキダケとヒジキをあえます。

食堂より

一坪の庭のアジサイがうっとおしい梅雨空に彩りを添えています。今月はカラフルなピーマンをたくさん入れて炒めビーフンを作りました。副菜には梅干しをつかって、ひじきのサラダをさっぱりとした味としました。

編集後記

7月に入ると、どの家庭も田植が無事にすみ、茶色の田んぼからきれいな緑色の田んぼに変わりました。朝5時頃になるとカエルの鳴き声が止まり、静かな時間が流れます。1匹のカエルが「ゲコ」「ゲコゲコ」と一声かけ、そのかけ声で周囲のカエルが一斉に鳴き始めますね。しばらく続く朝のカエルの行事が楽しみです。そして緑色の田んぼが金色に変わりおいしいお米が食べられる日が待ち遠しいです。

B.H

美祢市立病院診察日程表

平成26年7月1日

	月	火	水	木	金
初期診療	/	古賀 靖卓	/	/	/
(受付時間)		8:15~16:30			
(診察時間)		8:45~			
内科	山村泰世 (循環器系) 田部勝也 (血液・内分泌系)	李 博文 (循環器系)	山村泰世 (循環器系) 花園忠相 (消化器系)	李 博文 (循環器系)	山村泰世 (循環器系) 篠田崇平 (消化器系)
外科	本間喜一	岡田敏正	田中昭吉	田中昭吉	本間喜一
(受付時間)	8:15 ~ 11:30				
(診察時間)	8:45 ~				
脳神経外科	杉本至健	松永登喜雄	松永登喜雄	古谷泰浩	松永登喜雄
(受付時間)	8:15 ~ 11:30				
(診察時間)	10:00 ~	8:45 ~			
泌尿器科	磯山直仁	/	岡真太郎	/	藤川公樹
(受付時間)	8:15~11:30		8:15~11:30		8:15~11:30
(診察時間)	9:15~		10:30~		9:15~
整形外科	徳重厚典	/	富永康弘	/	小笠博義
(受付時間)	8:15~11:30		8:15~10:30		8:15~11:30
(診察時間)	9:00~		9:00~		9:00~
耳鼻咽喉科	松田嘉子	松田嘉子	下郡博明	松田嘉子 (第1・3・5週)	下郡博明
(受付時間)	8:15~15:00	8:15~11:30	8:15~15:00	8:15~11:30	8:15~15:00
(診察時間)	13:00~	8:45~	11:00~	8:45~	14:00~
眼科	柳井亮二	/	/	小林正明	/
(受付時間)	8:15~16:00			8:15~11:30	
(診察時間)	13:00~			9:00~	
小児科	午前：脇口宏之 (小児一般・感染症) 午後：脇口宏之 (小児一般・感染症)	午前：梶本まどか (小児一般)	午前：前場進治 (新生児・発育・発達)	午前：長谷川俊史 (アレルギー) 午後：脇和之 (内分泌)	午前：工藤敬子 (未熟児・新生児) 午後：前場進治 (新生児・発育・発達)
(受付時間)	8:15~11:30 13:00~16:30	8:15~11:30	8:15~11:30	8:15~11:30 13:00~16:30	8:15~11:30 13:00~15:30
(診察時間)	9:00~12:00 14:00~17:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00 14:00~17:00	9:00~12:00 13:30~16:00
◆ 予防接種及び乳児健診 (要予約) 午前：月～金曜日 (10:30～11:00) 午後：月曜日、木曜日 (14:30～16:30)、金曜日 (14:00～15:30)					
皮膚科	/	/	一宮 誠 第2・4週	/	/
(受付時間)			8:15~14:30		
(診察時間)			13:00~		
精神科	/	中野雅之	/	/	/
(受付時間)		13:00~15:00			
(診察時間)		13:30~			

◆ただし、紹介患者のみの診察となります。

【注意事項】

- ・ 診察医は都合により変更する場合があります。(総合受付・外来受付に掲示)
- ・ 診察の順番は受付順ですが、検査の都合または呼び出し時不在の場合、順番が前後する場合があります。